

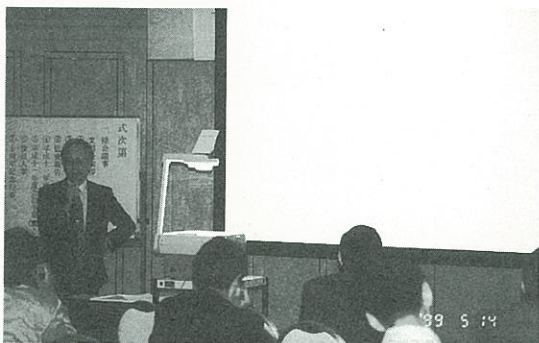
日本応用地質学会東北支部総会

日本工営㈱ 中曾根 茂 樹

日 時 平成11年5月14日〔金〕
14:00~17:00
場 所 仙台サンプラザ 5Fカトレア
出席者 53名+委任状74(東北支部会員数215)
主な議題

- 1) 平成10年度支部活動報告および会計報告
- 2) 平成11年度活動計画と予算案の承認
- 3) 役員人事承認
- 4) 10周年記念行事計画承認

総会に提案した議案については、すべて原案どおり承認された。



田中先生の特別講演

これに基づき幹事会を招請し、主な行事予定を
取り決めた。(6月10日)

本年度の主な行事予定は、次のとおりである。

- 1) 総会・特別講演会(5月14日)
- 2) 現地見学会(9月3~4日)
 - ・仙人トンネル(国道283改良工事)
 - ・三陸大気球観測所
 - ・鷹生ダム(岩手県) など
- 3) 講習会(ミニシンポジウム)「斜面地質」
(11月5日)
- 4) 研究発表会(平成12年1月28日)

また、10周年記念行事としてオーストラリア応
用地質研修旅行を実施することが承認された。こ

のための企画委員会も発足し、本年度からの予算
措置も承認された。この企画の骨子は次のとおり
である。

実施時期:2000年末~2001年初め頃

全工程:移動日を含めて10日程度

費用:交通費・宿泊費込み30~40万/1人
程度

想定人数:25~30名

主な見所:アデレード周辺のプレカン~カンブ
リアンの地質構造と化石、パース周
辺の構造物、現生ストロマトライト、
縞状鉄鉱床

今後東北支部会員・賛助会員に旅行参加者をつ
のり企画を実りあるものにすることが望まれる。
東北地質調査業協会の会員の皆様にもぜひご参加
ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。

なお、総会の特別講演として応用地質学会副会
長田中芳則氏を迎え、「割れ目と崩壊」というテー
マでお話をいただいた。応用地質学会論文賞をい
ただいた氏の扇射探索法に関する解説と割れ目が
寄与する崩壊実験結果などについて興味あるお話
であった。また岩盤の亀裂のモデル化と解析手法
の整合性などについて注意すべき点などを教えて
いただいた。さらに、最近の応用地質学会の取り
組みとしてエイベックエンジニア制度に関する話
題提供と問題提起をされた。この制度は、ISO
とともに日本の地質技術に関わる私たちにとって
注視していく必要があるものである。今後、学会
本部や大学などと連携を深め、世界に誇れる日本
の地質技術者の育成にさらに努力していく必要が
ある。

このような問題提起もあったこともあり、総会

後の懇親会は盛況であった。特に見学会やオーストラリア旅行に関する話題でもちきりとなった。なごやかな会場の雰囲気もあり、田中先生もアットホームな東北支部の活動に大変感激しておられた。今年1年の東北支部活動の前途を期して、総会参加者の決意も述べられた。いつもどおり時間があっという間に過ぎてしまった。



懇親会のようす

